

社会福祉法人淑徳福祉会 広報誌

淑徳共生苑

だより 2022.1 No. 54

共感・共育・共創

社会福祉法人淑徳福祉会

〒260-0813 千葉市中央区生実町 2407-1

電話 043-265-5526 (代表)

- 特別養護老人ホーム淑徳共生苑
- 淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
- 淑徳共生苑通所介護事業所
- 淑徳共生苑認知症対応型通所事業所
- 淑徳共生苑居宅介護支援事業所
- 淑徳おゆみ診療所
- 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘 (千葉市受託事業)
〒260-0808 千葉市中央区星久喜町 1162-71
- 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘白旗出張所 (千葉市受託事業)
〒260-0841 千葉市中央区白旗 2-18-12

笑顔
が
い
い
ね
!



地域における淑徳共生苑の コロナ禍でのあり方

施設長 林 房吉

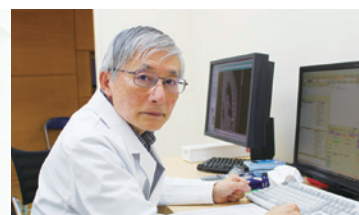


当苑も早いもので4月を迎えると15年目に入ります。開苑当初から地域の皆さんに応援していただき、さまざまな行事や活動にも取り組んできました。今は当たり前に関われる社会福祉法人の地域貢献・社会貢献も、開苑からの強い思いで取り組んできました。その一つに、淑徳おゆみ診療所は地域医療・福祉に貢献すべく事業展開したものです。当法人の地域における役割を例えると、私は船の運航を守る灯台の灯りでなければならないと考えています。さまざまな活動が職員の使命感を源に照らし、人々の光となって日々休むことなく役割を果たしていく。その為には、いつ起こるかわからぬ災害も含め、様々な課題にも取り組むことを一人一人が自覚し行動していることが何よりも必須と考えます。

今も世界に蔓延している新型コロナウイルス感染は、私たちのこれまでの生活を変える大惨事が続いています。多くの人が感染予防に努め、忍耐強く現状を受入れ“with コロナ”で懸命に頑張っています。そんな中でも法人の諸活動は変わらず続いており、その内容は以前とは様変わりし、人との交流を制限した状態で実施されています。これまでのように地域の皆さんに気軽に来ていただくことはまだ難しい状況ですが、今できることから始める実践に取り組んでいます。その一つが、家庭裁判所の「補導委託制度」で、非行少年たちに社会奉仕活動を体験していただく事業所として受託しました。今できる事に全力で取り組むことを旗印に、今後も着実に貢献活動を進めていきたいと考えています。

淑徳おゆみ診療所より

所長 丸岡 正幸



平成23年に共生苑併設の診療所として淑徳おゆみ診療所が開設してから10年を経過しました。

スタッフのほとんどの方は、千葉県がんセンター時代を含めると40年以上前からともに働いていた、医療に対する造詣が深く、気心のわかる医療者ばかりですので、落ち着いてしかも高度な医療を提供できる施設になっています。

診断に不可欠なレントゲン装置として 通常のレントゲン検査装置とCT検査装置は開設以来導入されていましたが、本年度にCT検査装置が世界で最新型のSIEMENS社製16列マルチスライス装置に更新されました。非常に少ない線量（胸部レントゲン1枚撮影の線量）で頭部、胸部、腹部、脊椎全体等の各臓器の撮影が可能となりました。

このおかげで、診療所第一の仕事である共生苑に入苑されている方々への医療の提供が従来よりさらにスムーズに行えるようになってきました。つまり、健康管理、健康増進、治療のために問題が発生した時には医療上の必要に応じて、直ちにCT検査ができ、病状の把握ができ、必要な治療をすぐに開始できます。

同様に大切な仕事は共生苑の近くにお住いの方々に医療を提供することです。このときにも入苑者の方と同様に検査、治療がスムーズに行えます。職員の方の健康管理も重要なことですので、定期健診も必ず行っています。

千葉市健診も同様に毎年行っています。さらに予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌、コロナワクチン）等など医療全体に幅広く医療の提供を行っています。



共生苑の浴室のご紹介

入居者様・利用者様の身体状況に合わせた、様々なタイプの浴槽をご用意しております。
スタッフの介助のもと、安全・快適に入浴することができます

特別養護老人ホーム



家庭的なユニットバスタイプ

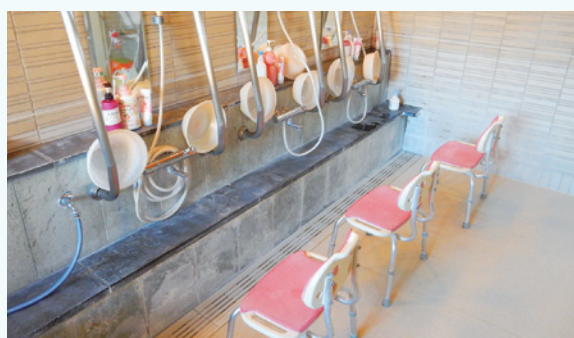


座った姿勢で入浴ができるタイプ



横になって過ごす事が多い方向けのタイプ

デイサービス



温泉や銭湯のような大浴場タイプ



座った姿勢で入浴ができるタイプ

笑顔 いっぱいありがとう！



移動販売

当苑では7月から買い物による気分転換を主な目的として、移動販売が始まりました。コロナ禍で日々の生活に様々な制限がある中、1か月に1回ではありますが、入居者様自身でお菓子などを選び、買い物を楽しんでいただく機会ができました。



大蔵寺幼稚園・慈光保育園からのプレゼント

以前は園児のみなさんが苑のホールやユニットにきて、お遊戯の披露をしてくれたり、折り紙のプレゼントをしてきていました。コロナ禍の今でも園児からのお手紙や、作品、折り紙のメダル、ビデオメッセージを届けてくれています。入居者の皆様も可愛いプレゼントに元気を頂き、笑顔を見せてくださいます。



介護職員の 年間休日数の増加・ 電子記録の導入

働き方改革の一環として、介護職員の処遇改善で今年度より年間休日数が12日増えました。導入前は休みが増えた分、仕事量の増加も懸念されましたが、休日数が増えた分、リフレッシュでき気持ちにもメリハリができた感じられます。

また、記録のツールもiPadやノートパソコンが導入されました。今までは紙で記録を作成していました。機械が苦手な職員は、はじめのうちは今までよりも時間がかかり苦労をしていました。今では記録にかかる時間は段々と削減され利用者と接する時間が多く取れるようになりました。また、様々な職種とも情報の共有もしやすくなりました。



地域 情報



10月に生実町内にティラミスの専門店がOPENしました。京成学園前駅から500m程の距離でイエローハットさんの近くにあります。私がまだ学生だった頃から共生苑に勤めはじめた頃まではこのすぐ隣にケーキ屋さんがあった記憶がありますが全く別のお店ようです(そのお店はシュークリームがおいしかったです)。

オーソドックスなものからフルーツやナッツがのったものなど、色々な種類のティラミスがショーケースに並んでいました。濃厚な味わいで、すぐ食べてしまいました。コーヒーにとっても合います。いずれ苑の入居者様と一緒に楽しめればと思っています。(広報委員 藤崎)

編集後記

新しい1年を迎え、今年はどのような年になるのだろうかという期待と不安が入り混じっています。新型コロナウイルス感染症終息の先行きは不透明な状態ですが、良い年になるよう、気を引き締めて日々の業務に努めてまいります。また、この広報誌を通して、当苑の魅力をこれまで以上に発信していきます。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

(広報委員 石井開己)